

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	仙台市なかよし学園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものアセスメントを丁寧におこない子どもとの信頼関係を築き、支援につなげている。また発達に応じた小集団で発達支援をすすめていけるよう活動プログラムを工夫し取り組んでいる。	子どもの様々な行動や関心があることや好きなあそび、苦手なことなどを丁寧に観察し、関わりながら子どもの気持ちを理解していくことを大事にしている。 子どもの発達と思いに合わせ遊びを中心とした活動プログラムを提供している。	子どもと一緒に楽しく遊び信頼関係を築き、家族以外の大切な存在になれるよう関係づくりにより力を入れていく。 子どもの発達を理解し、遊びや教材の工夫に取り組む。
2	保護者支援を丁寧におこない、保護者が安心できるように取り組んでいること。	子どもが安心して楽しく過ごせるよう取り組み、その姿を保護者と共有しながら保護者にも安心してもらえるよう、連絡帳や電話、通園バスの添乗などで直接話すことや面談するなど、丁寧にやり取りをしている。いつでも相談できることをアナウンスしたり対応をタイムリーに行うよう工夫している。担当者会議や進路先(学校)への引継ぎや放デイとの連携など丁寧におこなっている。	福祉サービスや進路についての学び、保護者対応のスキルの向上などに取り組む。
3	専門職同士、他職種連携しながら療育をすすめている。	それぞれの専門性を活かして取り組んでいる。情報共有しながら専門的視点を合わせて総合的な支援に取り組んでいる。	それぞれの専門性を活かせるような連携をすすめ、相互に尊重し合い丁寧なやり取りを心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制や専門職の配置の充実 職員の情報共有や振り返りの充実	専門職は一人職が多いため、休みの場合代わりになる職員がいない。タイムリーな職員採用が難しく、体制が整うまで時間がかかることが多い。 職員間の情報共有や振り返りなどは時間ややり方を工夫して行っている。	園児の状況に合わせ支援をすすめていく為に、職員も安心して勤務できる環境を検討していく。 職員間の情報共有などは工夫をしているが、より連携を深めることができるよう取り組む。
2	建物や設備、遊具の老朽化	築年数は経過しているため、必要な修繕をおこなっているが子どもの安全や衛生面を考慮した修繕をおこないたい。	換気設備の清掃や玄関の自動開閉の修繕をすすめたい。 子どもの安全や衛生面を考慮し修繕等の計画をすすめる。
3	地域の保育所や認定こども園幼稚園との交流する機会が少ない、また行事への地域の招待などおこなっていない	コロナウイルス感染症の時期から、地域との交流や行事への招待を控えてきた。 感染症が流行中で、まだ緩和していない。	感染症への考え方を整理し交流や招待などを前向きに検討していく。